



2019.9.29(日) みんなの森 ぎふメディアコスモス | 12:30~15:15 かんがえるスタジオ

発達と表現

～主体的で対話的で深い学びのために～

【第一ワーク：12:30~13:30】 基調講演 『発達と表現』

丹羽伸也氏 精神科医 岐阜県発達障害者支援センターのぞみ所長

聞き手 西尾彰泰氏 精神科医岐阜大学保健センター准教授 劇作家・演出家

【第二ワーク：13:30~15:15】 『生きる力』育成のための『媒体表現』の有効性

「コミュニケーション苦手…です」現代社会に…よくあるあるの問題です。

どうすればコミュニケーション能力とやらは身についていくのでしょうか？

Answer：対人関係=苦手な…コミュニケーションをとことん繰り返していく

コミュニケーションは『人』への意識からはじまります。その『対人意識化』は自他認知です。

自他認知を理解できてコミュニケーション力はどんどん育っていくのではないのでしょうか。

そして現代の多様化とIT社会に『生きる力』を身につけるために大切なことは？

『正しい知識』のような二者択一的な考え方ではなく、多様化社会には個々人の『最適解』がありその最適解の肯定理解こそが自他認知となり、より良いコミュニケーション力育成になります。

『主体的で対話的』な対人関係・コミュニケーションあつての深い学びから『生きる力』は自ずと育まれていくのではないのでしょうか。

今回はそのコミュカ『どうすればいいのか?…なぜ?』を参加者のみなさまと共に考えていきます。

7月にこども文化クラブ・一般公募で『本と音』の創作表現活動をしました。

そのプロセスにおける参加者(小・中学)の行動変容と内省リフレクションをDST映像制作しました。知育遊び…読書・アート・音楽・演劇・文章・ダンス等を

媒体とする媒体表現の有効性や、主体的なコミュニケーションがはじまる動機付け

など、今回の『発達と表現』…主体的で対話的で深い学びとは?…を話し合っていきます。



ぎふの森学園(発達障害児者支援) ラーニングプラス(発達生涯学習教育支援)

■連絡先：090-5039-8989 代表：加藤かおり

■本町教室/岐阜市本町3 ■ぎふの森ガーデン/岐阜市本荘中ノ町3-10 宇佐ガーデンプレイス2F-E



LEARNING PLUS GifunomoriGakuen